

http://www

# 地域連携推進センター ニュースレター 〈第69号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8732 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用武史

## はじめに

### 文部科学省COC+事業

#### 高知大学 最高「S」評価獲得

平成25年度から開始した文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC)」は、平成27年度から開始した「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」と一体化し、全国で76件の事業が推進されています。今回、これまでの進捗や成果および事業の継続・発展性の見通しの評価が全国の事業で実施され、その結果が2月13日に公表されました。

結果として、高知大学は最高のS評価を受けました。S評価は全国76件のうち7大学、うち国立大学は本学含め4大学のみでした。

**S:**計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

評価コメントでは、「地域協働学部など全学的な教育組織改革やカリキュラム改革の実施」、「地域コーディネーターを活用した地元との連携による課題解決」などが高く評価され、地方総合大学の国立大学法人と地方公共団体の連携を進める場合の模範となり得る取組と評価されました。

全国の評価結果は以下の日本学術振興会ホームページに公表されております。

[https://www.jsps.go.jp/j-coc/h28\\_hyoka\\_kekka.html](https://www.jsps.go.jp/j-coc/h28_hyoka_kekka.html)

## 目次

### p1 はじめに

### p2 域学連携推進部門

Topic1. 土佐 FBC 第9期生 修了式・成果発表会 開催

Topic2. 平成28年度地域協働ネットワーク会議 開催

### p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 土佐まるごと社中(TMS)

第23回定例会 in 須崎 開催報告

Topic2. JST オープンイノベーションフェア WEST 2017  
参加報告

### p4 知的財産部門

Topic1. 知的財産部門主催「知的財産セミナー」  
開催報告

Topic2. グローバル知財戦略フォーラム 2017  
参加報告

### p5 地方創生推進部門

Topic1. 高知財務事務所長 1week インターンシップ

## Topic 1. 土佐 FBC 第 9 期生 修了式・成果発表会開催

社会人を対象とした高知県の食品関係の産業人材育成事業である土佐フードビジネスクリエーター人材創出(土佐 FBC)は、平成 28 年度が第9期目となります。平成 28 年 5 月に入校した受講生の授業も無事終了し、3 月 16 日に修了式を執り行う予定です。

修了式後、修了生が学んだ成果を発表する成果発表会を開催いたします。基調講演として、高知暮らしの楽校の 松田 高政 代表取締役による「高知県の食品産業の未来について(仮)」も予定しています。成果発表会はどなたでもご参加可能ですので、ご興味ございましたらご来場いただきますよう何卒お願い申し上げます。( <http://www.kochi-u.ac.jp/events/2017020900010/> )

高知大学 土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業 平成 28 年度成果発表会

日時:平成 29 年 3 月 16 日(木) 14:00~17:05

会場:高知城ホール4階 多目的ホール

会終了後、修了祝賀パーティも高知城ホールにて予定しています。こちらもどなたでもご参加可能となっております(会費 4,000 円)。

## Topic 2. 平成28年度 地域協働ネットワーク会議 開催

本学に限らず、県内で学生と地域との様々な協働が実践されている中で、大学が地域と関わる意義や課題等を大学以外の機関と共に検討する必要があります。その検討のための一つの場として、地域協働ネットワーク会議を毎年開催しており、このたび平成 28 年度会議を開催する運びとなりました。


第4回目となる今回は、大学生の活動とそれを支援する方々の事例報告等を通じ、大学生の活動を支援する意義、協働を促す支援のあり方について考えます。

日時:平成 29 年 3 月 5 日(日)14:00~16:30


場所:高知城ホール 大会議室

今回は以下の学生団体からも事例報告いただきながら、つづくパネルディスカッションにおいて「地域協働を促す支援と期待」について議論する予定です。

- ・地域まちづくりプロジェクト「コンパス」
- ・Kochi Leaders Program
- ・高知大学映画制作サークル 21.



文部科学省 地(知)の拠点整備事業(COC)  
「高知大学インサイド・コミュニティ・システム(KICS)」



平成28年度 地域協働ネットワーク会議

# 学生と地域をつなぐ「支援」

—なぜ地域は支援をするのか、「協働」と「支援」を考える—

本会議では、県内の様々な協働実践を通じて、大学が地域と関わる意義や課題等を参加者のみなさまと共有します。地域協働に関心を抱く方々にとっての情報収集の場、連携強化の場となることを目指しています。  
第4回目となる今回は、大学生の活動とそれを支援する方々の事例報告等を通じ、大学生の活動を支援する意義、「協働」を促す「支援」のあり方について考えます。

平成29年 3 月 5 日(日) 14:00~16:30  
(開場 13:30)

**高知城ホール「大会議室」**  
(高知市丸ノ内二丁目1番10号)

参加無料  
申込締切  
2月28日  
(定員100名)

☆学生との連携を実施中、または今後希望する方々  
☆地域おこし等活動に興味がある方々 など  
**どなたでもご参加いただけます!**

**【事例報告】**

- ◆地域まちづくりプロジェクト「コンパス」
- ◆Kochi Leaders Program
- ◆高知大学映画制作サークル21.

**【パネルディスカッション】**

- ◆事例報告を行う学生団体のメンバー
- ◆高知市商工観光部商工振興課 中村 千栄子氏
- ◆協高知銀行地域連携ビジネスサポート部 伊藤 泰彦氏

主催：高知大学 共催：高知工科大学

**■申込方法** 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

①件名を【H28ネットワーク会議申込】とし、所属・氏名・電話番号を明記の上、以下のメールアドレスに送信  
[kt03@kochi-u.ac.jp](mailto:kt03@kochi-u.ac.jp)

②裏面の参加申込書に必要事項を記入の上、以下のFAX番号に送信  
FAX:088-844-8556

**■お問合せ** 高知大学地域連携推進センター (担当:岡本・森) TEL:088-844-8752

## Topic 1. 土佐まるごと社中(TMS) 第23回定例会 in 須崎 開催報告

第23回土佐まるごと社中(TMS)定例会 in 須崎を、平成 29 年 2 月 4 日(土)15 時より須崎市総合保健福祉センター2F 会議室 1(須崎市役所敷地内)にて、18 時より「交流会」を須崎市内にて開催しました。

まず、土佐まるごと社中世話人である、株式会社リョウマまちづくり研究所 松浦氏より TMS の紹介がおこなわれ、その後、8名のプレゼンターが登壇。地域連携推進センターの岡本恭一自治体連携コーディネーターも自身の取り組みについてプレゼンされました。約20名の方々にご参加いただき、プレゼンターのお話に興味深そうに聞き入っていました。プレゼン大会終了後は交流会会場に移動し、活発な意見交換が行われました。

なお、TMS は高知大学が事務局となり、産学官民の交流活動を「ココプラ」にて実施しております。

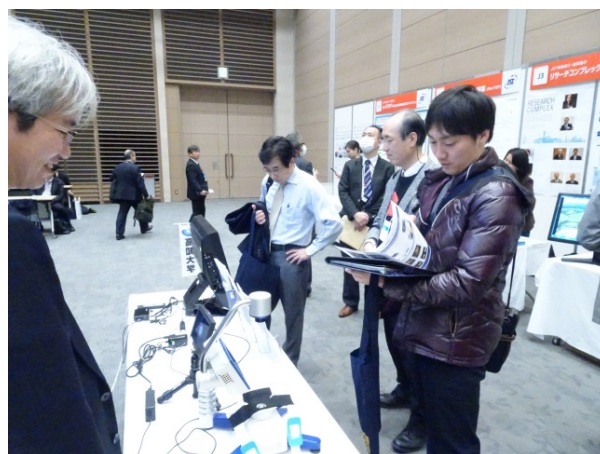


## Topic 2. JST オープンイノベーションフェア WEST 2017 参加報告

平成 29 年 2 月 7 日(火)、8 日(水)に、グランフロント大阪北館 B2 階ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンターにおいて、関西及び近畿の大学等に産学官連携事業紹介や研究成果を発表・展示し、あらたなオープンイノベーション創出の場として活用することを目的とした、『JST オープンイノベーションフェア WEST2017』が開催されました。2日間で約 1,300 人の来場者がありました。

本学からは、医学部:井上啓史教授「5-アミノレブリン酸を用いた光線力学技術」、医学部:佐藤隆幸教授「近赤外光で安全と安心を提供します」、地域連携推進センター:石塚悟史准教授「食品の健康増進効果の検証を安く、速くできます。」を、紹介しました。当日は、執印研究・医療担当理事もお越しいただき、ブースでの来場者への研究内容説明やショートプレゼンでのご発表と、本学の研究成果の発信にご尽力賜りました。

本学ブースにもたくさんの来場者があり、3つの紹介テーマについて興味を持たれた方々が詳細な質問をするなど、かなり密度の濃い展示会となりました。



## Topic 1. 知的財産部門主催「知的財産セミナー」開催報告

このたび知的財産部門主催による知的財産セミナーを平成 28 年 1 月 27 日(金)14 時 00 分より四万十市中央公民館にて開催しました。

セミナーでは、下方知的財産部門長が、知的財産の基礎の説明及び大学の知的財産の活用事例や注目技術の紹介を行いました。地元の事業者及び自治体関係者等の参加があり、知的財産への興味の深さを伺い知ることができました。また、講演後は希望者に対する相談会も行われ、知的財産に関する相談に対応しました。



## Topic 2. グローバル知財戦略フォーラム2017 参加報告

平成 29 年 2 月 13 日(月)、14 日(火)に、東京都文京区の東京ドームホテルにおいて、「グローバル知財戦略フォーラム2017」が、開催されました。(特許庁、(独)工業所有権情報・研修館主催)

このフォーラムは、国内外における知財関連情報の共有、知財活用に関する取り組みの情報交換の場、知財活用に関わる方々のネットワーク形成等を行う機会を提供するものであり、平成 23 年度から開催されています。

今年度は、「超スマート社会を見据えたビジネス・知財戦略及び地方創生の新展開」をテーマとして、イノベーション創出に取り組む大企業、中小・ベンチャー企業、大学等研究機関等の事業戦略とそのため知財戦略・人材育成および地方創生の推進に向けた地域・中小企業の知財活用、これらの支援についてを論点とする講演・パネルディスカッションが行われました。

知財部門として、このフォーラムで得られた知見等を参考に、今後の知財戦略等を考えていきたいと思っております。

## Topic 1. 「高知財務事務所長 1week インターンシップ」を実施

「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム(TSi)」で整備している教育プログラム「地方創生推進士育成科目」(準正課)の一つである「社長インターンシップ」で、2月13日(月)～17日(金)に財務省四国財務局の高知財務事務所長インターンシップを実施し、4名の学生がプログラムを受講しました。

高知財務事務所長インターンシップでは、財務事務所各課の業務や、事務所長に同行する秘書的業務を経験し、業務の成果を事務所長に報告するというプログラムを実施し、融資先現地実習として開館前の高知城歴史博物館を訪問したり、河川の災害現地を模擬査定するような内容もありました。

このほか、財産管理処分、経済調査事務、予算執行調査、金融機関のモニタリングといった業務を学び、NHK高知放送局や高知商工会議所のヒアリングを体験するという盛りだくさんの実習で、受講生からは、働くためには幅広い人間関係、信頼関係、広い視野がとても重要だと感じたという声が聞かれました。

全体のプログラムを通じて、「学生としてなかなか経験できない名刺交換を実際に行って、社会人を強く意識した」「いろんな現実に悩みながらもいいものを目指して頑張っていっちゃう人たちに出会えたのは本当に貴重な経験でした」といった感想がありました。

(写真)

高知財務事務所長とインターンシップ受講生(右)

国有財産業務(現地境界確認作業)(右下)

若手職員と昼食を取りながら意見交換(左下)

